

石川の土地改良

第653号 2023年秋号

石川県土地改良事業団体連合会



(金沢市)

CONTENTS

- 第1回理事会・四県協議会要請活動 1
- 農業農村整備の集い・合同要請活動 2
- 農業農村整備事業関係予算概算要求 3
- 石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会 6
- 受益農地管理強化委員会 7
- 管理運営体制強化委員会 7
- 管理指導センター管理専門指導員会議 7
- 施設維持管理適正化事業等説明会 8
- 換地委員等実務研修会 8
- 省エネ研修会 8
- いしかわ多面的機能発揮推進協議会通常総会 9
- 多面的機能支払交付金市町等担当者研修会 9
- 県外先進地視察研修会 10
- 研修会開催のお知らせ 10
- 連合会日誌・人事異動 11
- 就職活動に関する取り組み 12
- 夏のインターンシップ開催 12
- 本会採用職員の紹介 12
- 女性の会だより 13
- “21創造運動”いしかわだより 14
- 写真コンテスト開催のお知らせ 15
- 農業基盤整備資金の金利改定について 15

令和5年度 第1回理事会

7月11日(火)、会長職務代理者梶副会長はじめ理事11名及び監事2名の出席のもと、来賓に竹沢淳一県農林水産部長、池田俊文県農業基盤課長を迎え、石川農林会館にて第1回理事会を開催した。

はじめに梶副会長が挨拶に立ち、「各地で豪雨災害が発生しており、生活基盤はもちろん営農者が意欲を失うことに繋がりはしないか大変心配している。また、6月15日(木)に実施した要請活動では、農地の規模拡大やそれに伴う機械化を含む、ほ場整備に対する課題、電気料金高騰への支援対策など多くの要望を行った。理事、県内土地改良区の皆様のご協力のもと、要望活動を実施しているので、期待に応えられるよう引き続き取り組んでまいりたい」と述べた。

続けて、竹沢部長からの来賓挨拶の後、以下の審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

- 【議案】・令和4年度事業報告
・令和4年度収支決算

理事会に先立ち、7月5日(水)に監事会を開催し、本年度監査計画等の審議及び令和4年度決算監査が実施された。



北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 要請活動

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は6月16日(金)、自民党本部、財務省、農林水産省、関係国会議員に対し、以下の内容で要望活動を実施した。

【要請内容】

- ・土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、現場が必要とする予算を確保。特に、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策および多面的機能支払制度、ならびに中山間地域等直接支払制度について、令和6年度以降も十分な予算を確保。
- ・大規模災害からの復旧・復興や災害防止の早急な取組および災害対応におけるリモート技術の活用などのデジタル化、事務手続きの更なる簡素化の推進。
- ・農業競争力の強化を図るため、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、農地の大区画化、汎用化、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進。
- ・農村地域の国土強靱化を図るため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や豪雨・地震対策等を引き続き推進。
- ・燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、土地改良施設の適正な維持管理の主体である土地改良区の運営基盤強化に対し更なる支援の推進。



農業農村整備の集い

6月15日(木)、シェーンバツハ・サポーにおいて全国水土里ネット・都道府県水土里ネット共催による「農業農村整備の集い」が開催され、全国から関係者約1,200名が参集、石川県からは16名が出席した。二階俊博全国水土里ネット会長の開会挨拶の後、来賓として出席された勝俣孝明農林水産副大臣、西村康稔経済産業大臣らより祝辞が述べられた。

事例発表では、星野恵美子全土連理事・那須野ヶ原土地改良区連合専務理事による小水力発電への取り組みについて紹介があり、続けて宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問から情勢報告がなされた。

最後に、要請案文が満場一致で採択され、竹内成子水土里ネットふくい理事・福井県女性の会会長によるガンバロウ三唱で盛会裏に終了した。



来賓祝辞のようす

本会及び石川県農業農村整備事業推進協議会 いしかわ多面的機能発揮推進協議会 要請活動

本会及び石川県農業農村整備事業推進協議会、いしかわ多面的協議会は7月20日(木)・21日(金)、自民党本部、財務省、農林水産省、関係国会議員に対し、以下の内容で要請活動を実施した。

【要請内容】

- ・農業農村整備事業の着実な実施と計画的・安定的な推進のため、令和6年度予算措置において、現場ニーズに応えられるよう、必要な予算を確保。
- ・農業競争力の強化を図るため、担い手への農地集積・集約化を促すほ場の大区画化や高収益作物の導入のための水田の汎用化など、生産基盤整備の推進。
- ・農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の長寿命化、豪雨・耐震対策を推進すること。また、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、今後も十分な予算を確保。
- ・農村環境の保全を目的とした農業集落排水施設は40年余りが経過し、施設の老朽化が顕著であることから、更新整備が計画的に進められるよう、ソフト・ハード両面にわたって必要な予算を確保。
- ・燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、土地改良施設の適正な維持管理の主体である土地改良区の運営基盤強化に対し更なる支援の推進。
- ・大規模災害からの復旧・復興や災害防止の早急な取組および、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化の推進。
- ・多面的機能支払交付金は、地域資源の適切な保全管理、農業用施設の機能増進、農村の地域コミュニティの維持・強化等に重要な役割を果たしており、共同活動組織の強化に必要な十分な予算を確保。



横山 紳 農林水産事務次官

令和6年度 農業農村整備事業関係予算 概算要求

競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備を計画的に推進するため、農業農村整備事業（公共）、農業農村整備関連事業（非公共）及び農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）を合わせて、5,338億円（対前年度比119.8%）を要求。

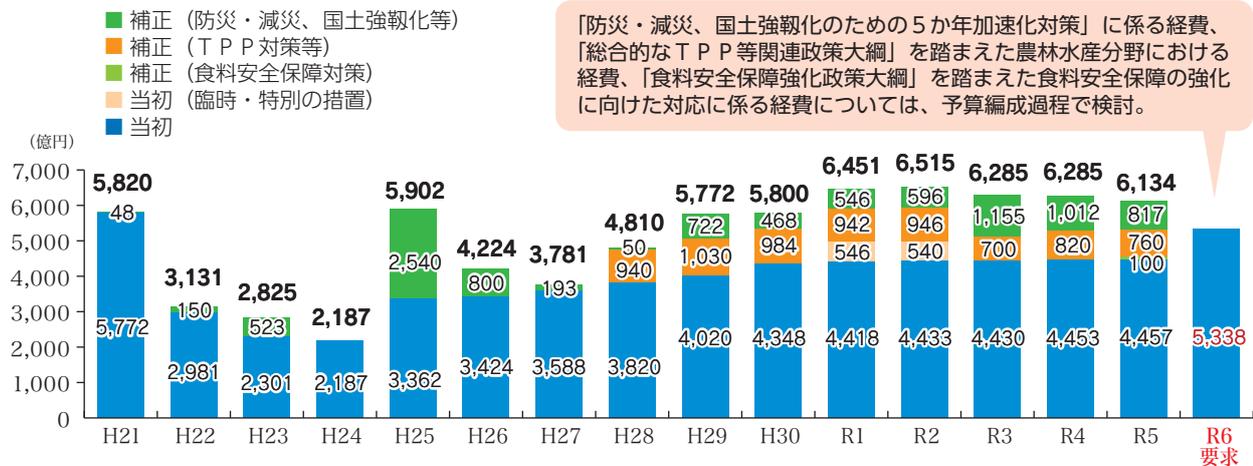
令和6年度予算概算要求

（単位：億円）

区分	令和5年度当初予算額	令和6年度概算要求額	対前年度比
農業農村整備事業（公共）	3,323	3,980	119.8%
農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業、畑作等促進整備事業、 農業水路等長寿命化・防災減災事業、農山漁村振興交付金〕	543	655	120.5%
農山漁村地域整備交付金（公共） 〔農業農村整備分〕	591	703	119.0%
計	4,457	5,338	119.8%

（注）計数は四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の推移



令和6年度農村振興局予算概算要求の重点事項

（※）各事項の下端（ ）内は、令和5年度当初予算額

I 農業の持続的な発展

1 農業生産基盤の整備・保全

① 農業農村整備事業＜公共＞

3,980億円
(3,323億円)

- ・農地の大区画化や汎用化・畑地化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保安全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進
- ・農村地域のインフラの持続性の確保と農村の活性化を図るため、集落排水施設や農道の再編、強靱化、高度化等の定住条件の整備を支援

- ② 農地耕作条件改善事業 239億円
(200億円)
- ・農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援
- ③ 農業水路等長寿命化・防災減災事業 336億円
(282億円)
- ・農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援
- ④ 畑作等促進整備事業 30億円
(20億円)
- ・麦・大豆等の生産拡大を推進するため、畑作物・園芸作物が生産される地域を対象に、暗渠排水等の基盤整備をきめ細かく機動的に支援
- ⑤ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞ 921億円
(774億円)
- ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

II 農村の振興（農村の活性化）

1 「しごと」「くらし」「活力」「土地利用」に着目した農村の振興

- ① 農山漁村振興交付金 117億円
(91億円)
- ・農山漁村における定住や都市と農山漁村の交流を促進するとともに、農山漁村に関わる関係人口の創出・拡大を図るため、「しごと」「くらし」「活力」「土地利用」の観点から農村振興施策を総合的に推進
 - ア 「農山漁村発イノベーション」の推進
 - ・コロナ禍からの再始動を図るため、農泊実施体制の再構築や全国の農泊地域の模範となる新たなモデル実証等を支援
 - ・6次産業化や農福連携など他分野・多様な主体との連携等により地域資源を活用した新事業や付加価値の創出を図る取組を支援
 - イ 農村型地域運営組織（農村RMO）の形成の推進
 - ・中山間地域等における農村RMOの形成やデジタル技術の導入・定着等を推進するとともに、農村RMOの裾野の拡大に向け、地域の共同活動を充実させるための実証活動等を支援
 - ウ 棚田地域振興や地域づくり人材の育成
 - ・棚田地域振興のための活動、地元企業・大学等と棚田地域との連携促進を支援するとともに、地域づくりをサポートする農村プロデューサーを育成・活用するための実地研修等を実施
 - エ 最適土地利用総合対策
 - ・地域ぐるみの話し合いによる最適な土地利用構想の策定、基盤整備等の条件整備、鳥獣被害対策、粗放的な土地利用等の総合的な対策を推進
 - オ 農業・農村の情報通信環境の整備
 - ・農業・農村のインフラの管理の省力化・高度化、スマート農業の実装、地域活性化を促進するため、情報通信環境の整備を支援
 - カ 都市農業の多様な機能の発揮
 - ・都市農業を振興するため、都市部において農業体験や交流の場の提供、災害時の避難場所の確保、空闲地の活用等を支援
- ② 中山間地農業ルネッサンス事業＜一部公共＞ 476億円
(407億円)
- ・中山間地域等において、地域特性をいかした活動の推進や各種支援事業の優先採択等により、多様な取組を総合的に支援

2 鳥獣被害防止対策等

鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

122億円
(97億円)

- ・鳥獣被害の防止に向け、侵入防止柵の整備、広域的な柵への再編、狩猟組織の体制強化やシカの集中的な捕獲を行う特別対策の実施、高度な鳥獣被害対策人材の育成・確保等を支援するほか、森林におけるシカ捕獲体制の構築等を支援
- ・捕獲鳥獣を有効活用し、ジビエ利活用を推進するため、捕獲個体の広域搬入体制の整備、皮革利用促進や情報発信の強化等による需要拡大の取組を支援

Ⅲ 多面的機能の発揮

① 多面的機能支払交付金

488億円
(487億円)

- ・農業・農村の多面的機能の維持・発揮や地域全体で担い手を支えることを目的として、地域資源を適切に保管理するために農業者等が地域共同で行う活動を支援するとともに、都道府県等が行う活動組織への伴走支援の取組を支援

② 中山間地域等直接支払交付金

265億円
(261億円)

- ・中山間地域等における農業生産条件の不利を補正することで、棚田地域を含む中山間地域等での農業生産活動を継続して行う農業者等を支援

「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に係る経費、「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた農林水産分野における経費、「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費については、予算編成過程で検討

Ⅳ 関連施策

1 農業農村整備事業の関連施策

(水田農業の高収益化の推進)

(農業農村整備事業)

- ・高収益作物の導入・定着を図るため、国、地方公共団体等が連携し、水田での高収益作物への転換、水田の汎用化・畑地化のための基盤整備、栽培技術や機械・施設の導入、販路の確保等を一体的に推進

3,980億円の内数
(3,323億円の内数)

(小麦・大豆の国産化の推進)

(畑作等促進整備事業)

- ・小麦・大豆の国産シェアを拡大するため、作付けの団地化、機械・技術の導入による生産性の向上や基盤整備による汎用化・畑地化の推進、ストックセンターの整備や民間主体の一定期間の保管による供給量の安定化、商品開発等による需要拡大に向けた取組を支援

30億円
(20億円)

(農地耕作条件改善事業)

239億円の内数
(200億円の内数)

(スマート技術等の導入に資する基盤整備の推進)

(農業農村整備事業)

- ・農地の大区画化や汎用化・畑地化の推進、スマート農業等に対応するデジタル基盤の整備

3,980億円の内数
(3,323億円の内数)

(農地耕作条件改善事業)

239億円の内数
(200億円の内数)

(農山漁村振興交付金)

117億円の内数
(91億円の内数)

(グリーンな栽培体系の普及、有機農業の推進)

- ・病虫害の発生予防・まん延防止に資する農地の土層改良や排水対策等を支援

(農地耕作条件改善事業)

239億円の内数
(200億円の内数)

2 農村振興施策の関連施策

(国民理解の醸成)

- ・SNS等を活用した情報発信や学校給食での地場製品の活用促進による国産国消・地産地消の推進、棚田の魅力発信、農業体験の促進、事業者の食品安全に係るリスク低減や社会活動の可視化等による国民理解の醸成、環境負荷低減の見える化やJ-クレジットを通じた関係者の行動変容の促進

(農山漁村振興交付金)

117億円の内数
(91億円の内数)

3 日本型直接支払制度の関連施策

(多様な農業人材の意欲的な取組の推進)

- ・地域の実情に応じた生産体制強化への支援、多様な経営体に対し、専門的に経営・技術等をサポートするサービス事業体の育成、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図る多面的機能支払や中山間直接支払、多様な農業人材に対する研修機会の提供、多様な農業人材からなる集落営農の活性化支援を実施

(多面的機能支払交付金)

488億円の内数
(487億円の内数)

(中山間地域等直接支払交付金)

265億円の内数
(261億円の内数)

土地改良事業の相談は 水土里ネット いしかわへ

石川県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談への助言・指導を行っております。窓口は下記のとおりとなりますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先 石川県水土総合推進センター

○受益農地管理、強化に関するお問い合わせ先 TEL:076-249-7184

○施設・財務管理、強化に関するお問い合わせ先 TEL:076-249-9938

相談日 毎月1日

石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会

5月22日(月)、石川農林会館にて、令和5年度石川県農業農村整備事業推進協議会通常総会が開催された。総会には、市町および土地改良区役職員のほか、来賓として池田俊文県農業基盤課長並びに吉田浩司県都市計画課生活排水対策室長、本会から前寺専務理事、古西参事兼企画調整監が出席した。

開会の挨拶で小泉勝会長は「本協議会では、今後も老朽化が著しい農業用水利施設の防災・減災・長寿命化対策の推進や、農地の集約化と担い手の育成に有効な、ほ場整備事業の推進等に必要な予算確保を、関係方面に要請して参る考えである」と述べた。

議案審議では下記の議案が上程され、可決・承認された。その後、県担当者から「農業農村整備事業関係の予算」及び「事業の実施状況及び今後の実施方針」についての説明がなされた。

【議案】

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度収支決算
- ・令和5年度事業計画(案)
- ・令和5年度経費の負担基準及び納入方法(案)
- ・令和5年度収支予算(案)



受益農地管理強化委員会

石川県水土総合推進センターは6月27日(火)、石川農林会館において、令和5年度受益農地管理強化委員会を開催。前寺委員長は開会の挨拶で、「本委員会は、換地指導や農地集積、換地技術者及び換地委員等への各種研修会の実施を中心に活動しており、換地業務の円滑な推進に寄与している。今後も換地業務の適切な実施及び、相続問題や所有者不明問題など財産管理人選任についての専門的な指導をお願いしたい」と述べた。

委員会には10名の委員が出席し、石田昭弘北陸農政局土地改良管理課長による来賓挨拶

の後、下記の議案について審議が行われ、原案どおり可決承認された。

議案可決承認後、金沢地方法務局 首席登記官(不動産登記担当)橋本委員より、未相続農地、所有者不明農地に関連する相続登記申請の義務化について説明があり、積極的に意見交換が行われた。

【議案】

- ・令和4年度事業実施結果報告及び収支決算
- ・令和5年度事業実施計画及び収支予算

管理運営体制強化委員会

石川県水土総合推進センターは、6月27日(火)に石川農林会館において、令和5年度管理運営体制強化委員会を開催。開会の挨拶で前寺委員長は、「当委員会において審議いただく内容は、県内の土地改良施設を適切に管理していくための定期的な診断の対応や計画及び管理指導、並びに土地改良施設維持管理適正化事業等による施設の保全対策、また土地改良区の組織運営基盤の強化を図るための相談や複式簿記会計等の指導に関する大変重要な会議である。委員皆様からの忌憚のな

いご意見を賜り、本年度の業務遂行に反映させていきたい」と述べ、続けて石田昭弘北陸農政局農村振興部土地改良管理課長から挨拶をいただいた。

委員会には14名の委員が出席し、以下の議案について審議が行われ、原案どおり可決承認された。

【議案】

- ・令和4年度事業実施結果報告及び収支決算
- ・令和5年度事業実施計画及び収支予算

令和5年度石川県土地改良管理指導センター 管理専門指導員会議

石川県水土総合推進センターは、7月25日(火)、土地改良会館において、土地改良施設の管理に関する専門的な診断・管理指導に関する管理専門指導員会議を開催し、県及び本会の管理専門指導員9名が出席した。

会議では、参事による挨拶の後、以下の議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。

【議案】

- ・土地改良施設の診断・管理指導業務

- ・令和4年度土地改良施設維持管理適正化事業実施結果
- ・令和5年度土地改良施設維持管理適正化事業実施計画
- ・令和6年度土地改良施設維持管理適正化事業加入要望

なお、本年度の定期診断は、対象施設334施設のうち、40施設を予定しており、整備補修事業は15団体40施設、防災減災事業は10団体13施設を予定している。

令和5年度土地改良施設維持管理適正化事業等に関する説明会

本会は、8月21日(月)に土地改良会館において土地改良施設維持管理適正化事業等に関する説明会を開催し、16土地改良区及び9市町の役職員など30名が出席した。

前寺清一専務理事による挨拶の後、本会職員から整備補修事業及び防災減災機能等強化

事業における新規加入や計画変更、交付決定前着工、竣工検査時の留意事項等について説明を行った。つづいて、県農業基盤課吉田匡課長補佐から適正化事業以外の農業水利施設等の更新・補修事業について説明を受けた。

換地委員等実務研修会

石川県水土総合強化推進センターは、令和5年度換地委員等実務研修会を県下3会場(金沢市、輪島市、七尾市)で8月29日(火)～31日(木)に開催した。

この研修会は、土地改良区体制強化事業実施要綱・同要領に基づいた換地等技術向上のための研修として実施しているもので、事業実施地区の換地委員、事業予定地区の準備委員や事業推進委員など3日間で計96名の参

加があった。

研修では、当センターが講師となり、「換地のあらましや基礎知識」、「換地設計基準」、「土地評価と換地清算」、「換地計画原案作成」といった地区で行う換地業務を中心に説明を行った。講義の後に実施した質疑応答では、参加者から講義内容や日々作業を行う上での留意点等に関する質問がなされ、換地業務への理解を深めた。

省エネルギー化に取り組み 土地改良施設の適切な管理を続けるために

8月18日(金)、水土里ネット男性役職員研修会の開催に併せて、「農業水利施設の電気料金高騰における省エネの取り組みについて」と題し、講習会を実施した。石川県農業基盤課 宮園克久課参事から県独自の補助制度の採択条件や省エネルギー化の取組について説明を受けた。



県独自の補助制度を受けるには？

採択条件

- ・国の省エネ事業を実施すること(県独自補助だけを受けることはできません)
- ・国の省エネ事業により選択した取組メニューの2項目に加え、さらに1項目以上を実施すること

補助内容

令和5年度電気料金(4月～9月)高騰額の15%を補助
(国の省エネ事業は高騰額の70%を補助)

いしかわ多面的機能発揮推進協議会通常総会

5月30日(火)、石川県土地改良会館において、いしかわ多面的機能発揮推進協議会第17回通常総会が開催され、県、市町、JA、土地連から計25名が参加した。

開会に当たり、前寺会長（県土連専務理事）から「多面的機能支払の実施により、農地を荒廃させずに維持していくことが非常に大切で、流域治水における「田んぼダム」は、多面的機能支払の中で今後大きな役割となります。この取り組みを進める上では、市町のリーダーシップ、県のさらなる指導をお願いすると共に、小さな活動組織への事務等の手助けが難しい状況であるため、いかに広域化を進めるかを議論し、地域の声を拾いながらこの協議会を運営していきたい」と挨拶があった。続いて以下の議案について審議し、全議案可決承認された。最後に、副会長代理の石川県農林水産部里山振興室堀田室次長は閉会の挨拶にて「活動組織の中には高齢化等で活動の継続が困難な組織も見受けられ、流域治水の問題は市町の協力が必要である。県としては、広域化の推進等、組織が円滑に事業に取り組めるよう、関係の皆様と連携を図り支援してまいりたい」と述べた。



【議案】

- ・令和4年度事業報告及び収支決算
- ・役員を選任
- ・令和5年度事業計画及び収支予算

【新役員】

会 長：前寺 清一（石川県土地改良事業団体連合会専務理事）

副会長：中村 弘和（石川県農林水産部里山振興室室長）

監 事：堂村 毅（金沢市農林水産局担当次長兼農業水産振興課課長）

（任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日）

多面的機能支払交付金市町等担当者研修会

いしかわ多面的機能発揮推進協議会は、8月30日(水)、石川県土地改良会館において令和5年度多面的機能支払交付金市町等担当者研修会を開催。この研修会は、多面的機能支払交付金を担当する県、市町、土地改良区職員の本制度の習得等を支援し、事業の円滑な推進を図ることを目的に開催され、市町職員など38名が出席した。

前寺清一協議会会長による挨拶の後、県里山振興室浅谷一至主任主事から「多面的機能支払交付金制度の推進と県内の取組状況、会計経理の適正化に向けた対応について」「田んぼダムの取組について」、県農業基盤課吉田課長補佐から「石川県の田んぼダム検証

試験の取組について」の講義を受けた。協議会からは「制度の概要と変遷」「活動計画書及び実施状況報告書のチェックのポイント」等についての講義の後、多面的機能支払交付金に関する課題や今後の取組方向等について、質疑応答や意見交換が行われた。



令和5年度 石川県農業農村整備事業推進協議会 県外先進地視察研修会

8月23日(水)～25日(金)、石川県農業農村整備事業推進協議会は県外先進地視察研修会を開催し、市町、土地改良区および本会役員員の計15名が参加、新潟県上越市の関川水系土地改良区、佐渡市新穂正明寺地内、佐渡トキ保護センター 野生復帰ステーション、弥彦村にある農事組合法人サンファーム大戸の4か所を視察した。

「関川水系土地改良区」では、地域・地形に合わせた大区画ほ場整備に伴うスマート農業の導入による、稲作コストの削減を目指す先進的な取り組みを見学した。

佐渡市は“朱鷺と暮らす郷”として、田んぼにトキの餌場になる江の設置や、農薬や化学肥料を減らした認証米の生産を進めており、「新穂正明寺地区」の生きものを育む環境と営農の両立に取り組む様子を見学。その後「佐渡トキ保護センター野生復帰ステーション」に移動し、トキの繁殖・育成から野生復帰後の経過観察まで、長期にわたる丁寧な研



トキの餌場になる江の様子

究と取り組みにより、人とトキが共生できる環境づくりを実現させるまでの説明を受けた。

「農事組合法人サンファーム大戸」は地域共生型農業生産法人を目指しており、JGAP認証の取得や補助金を活用した機械の導入や複合経営など、地域で協力して先進的な営農を展開させていく方法について学んだ。

参加者は、先進地の農業への取り組みやトキとの共生について、石川県でも今後活かすことができるよう、熱心に情報を集めていた。



佐渡トキ保護センター 野生復帰ステーションにて

◎「JGAP」とは

GAP (=Good Agricultural Practices)のひとつで、農林水産省では「農業生産工程管理」とよばれている。食品安全・労働安全・環境保全・人権福祉など持続可能な農場経営への取り組みに関し、日本の標準的な農場にとって必要十分な内容を網羅した基準であり、認証制度のこと。

研修会開催のお知らせ

以下の研修会の開催を予定しております。
詳細が決まり次第、順次ご案内いたしますので、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

●令和5年度統合整備推進研修(会計研修)

日時：10月27日(金) 13:00～

場所：石川県土地改良会館

主催：全国土地改良事業団体連合会

●令和5年度土地改良区役員・職員研修会

日時：11月2日(木) 14:00～

場所：ホテル金沢

主催：石川県土地改良事業団体連合会

※やむを得ない事情により、予定が変更となる場合がありますこと、ご了承ください。

連 合 会 日 誌

4月

14日 石川県農業会議第85回常設審議委員会 (金沢市)

5月

11・12日 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会ブ
ロック会議 (新潟県)

18日 石川県基幹水利施設管理協議会総会 (金沢市)

22日 石川県農業農村推進協議会総会 (土地改良会館)

同日 石川県経営構造対策事業委員会 (金沢市)

同日 ひまわり村種まき (津幡町)

29日 令和5年河北潟地区国営土地改良事業推進協議
会通常総会 (金沢市)

30日 いしかわ多面的機能発揮推進協議会通常総会
(土地改良会館)

31日 都道府県水土里ネット事務責任者会議 (東京都)

6月

1日 農地・林地防災月間出発式 (県庁)

同日 令和5年度第1回石川県土地改良区運営基盤協
議会実務委員会 (Web開催)

2日 第34回河北潟周辺地域排水対策事業促進同盟会
総会 (金沢市)

同日 石川県農業活性化協議会第1回通常総会(金沢市)

6日 令和5年度北陸農政局土地改良管理課関係担
当者会議 (Web開催)

7日 全国水土里ネット女性の会臨時総会 (Web開催)

14日 石川県農業会議第68回通常総会及び第3回理事
会及び第87回常設審議委員会 (金沢市)

15日 農業農村整備の集い (東京都)

16日 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会要請活動
(東京都)

24日 いしかわ就職フェア (金沢市)

25日 農林倶楽部県央支部ボランティア (辰巳用水)
同日 令和5年度職員採用候補者第1次試験
(土地改良会館)

27日 令和5年度受益農地管理強化委員会
(石川農林会館)

同日 令和5年度管理運営体制協会委員会
(石川農林会館)

28日 都道府県土連・会員土地改良区総務実務担当者
会議 (東京都)

29・30日 北陸地区農地集団化促進協議会 (福井県)

7月

3日 国営施設応急対策事業手取川地区推進協議会令
和5年度総会 (白山市)

4日 都道府県土連・会員土地改良区事務責任者会議
(Web開催)

5日 第1回監事会 (石川農林会館)

同日 花いっぱい運動 (津幡町)

5・6日 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会令
和5年度通常総会 (富山県)

11日 第1回理事会 (石川農林会館)

同日 石川平野排水対策促進協議会令和5年度通常総
会 (白山市)

20・21日 石川県農業農村整備事業推進協議会要請活動
(東京都)

28日 令和5年度多面的機能支払交付金市町等担当者
研修会 (土地改良会館)

同日 ひまわり村開村式 (津幡町)

8月

9日 インターンシップ (土地改良会館)

18日 水土里ネット男性職員研修会 (土地改良会館)

同日 令和5年度職員採用候補者第1次試験(二次募集)
(土地改良会館)

23～25日 県外先進地視察研修会 (新潟県)

29～31日 換地委員会等実務研修会 (金沢市)

人 事 異 動

○農林水産省 農村振興局

農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 農泊推進室

” 整備部 土地改良企画課

農村振興局

”

” 整備部

” ” 水資源課

” ” 地域整備課

” ” 防災課

” 農村政策部 都市農村交流課 農福連携推進室

” 整備部 水資源課 農業用水対策室

” ” 農地資源課 経営体育成基盤整備推進室

” ” 防災課 防災・減災対策室

” 農村政策部 地域振興課

室長 村山直康 令和5年5月1日付

課長 鈴木大造 令和5年6月26日付

局長 長井俊彦 令和5年7月4日付

次長 青山健治 ”

部長 緒方和之 ”

課長 瀧川拓哉 ”

課長 武井一郎 ”

課長 石井克欣 ”

室長 渡邊桃代 ”

室長 渡邊雅彦 ”

室長 渡辺一行 ”

室長 渡部和弘 ”

課長 山本恵太 令和5年9月1日付

○北陸農政局

北陸農政局 農村振興部

部長 細井和夫 ”

就職活動に関する取り組み

6月24日(土)に開催された、いしかわ就職フェアに本会も参加した。ブースに来ていただいた学生の皆様には、本会の概要や業務内容に関する説明およびインターンシップの概要や前回開催の様子について話をさせていただきました。

本会は、就職フェア等への参加やインターンシップの開催に今後も取り組んでいきます。農業土木分野において測量・設計等の技術を生かしたい方や農業農村、地域と関わる仕事に興味のある方の参加をお待ちしております。



夏のインターンシップを開催しました

8月9日(水)にインターンシップを実施しました。2名の学生が参加し、お二人とも文系ということで、事務系業務を体験。職員との会話や質問を交えながら、初めての作業にも熱心に取り組んでいただきました！

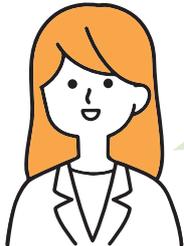


〈開催プログラム〉

- 9:00~10:00 オリエンテーション・館内案内
- 10:00~12:00 換地業務体験
- 昼 食 ——
- 13:00~15:30 総務課及び企画管理課業務体験
- 15:30~16:00 職員と意見交換会

次回は冬のインターンシップを予定しております。農業農村や地域と関わる仕事に興味のある学生の皆さんは、是非ご参加ください！

業務体験の最後に、お二人に感想を書いてもらいました。
ご参加ありがとうございました！



換地や総務部について分かりやすく説明していただき、どのような業務を行っているのか詳しく知ることができました。職員さんもみなさん優しく、職場の雰囲気を感じることができたので参加して良かったです。



インターンシップを通して、詳しい業務の内容や職場の雰囲気を知ることができてよかったです。職員のみなさんがいろいろなことを優しく教えてくださったので、とても充実した時間になりました。

本会採用職員を紹介



氏名
三上 拓自
所属
総務部総務課 課長補佐

◆抱負及び自己紹介

生まれ育った石川県の土地に関わる仕事ができることに、喜びを感じております。
これまでの職務経験を活かし、新たな気持ちで一つずつ丁寧に仕事に取り組めますのでよろしくお願いたします。趣味は、ご当地グルメや歴史的建造物などに足を運ぶことを楽しんでいます。国内各地を、計画的に旅行出来ればと思っています。

全国水土里ネット女性の会臨時総会

6月7日(水)に全国水土里ネット女性の会臨時総会がオンラインで開催。以下の議案について審議が行われ、いずれも可決・承認されました。

【議案】

- ・全国水土里ネット女性の会会則の一部改正
- ・令和4年度全国水土里ネット女性の会事業報告
- ・令和5年度全国水土里ネット女性の会事業計画 (案)

水土里ネット男性役職員研修会を開催

8月18日(金)、土地改良会館にて、男女共同参画への理解を深めてもらうことを目的に、標記研修会を実施。土地改良区の役職員20名、本会職員4名が参加しました。講師として、今年1月に開催した女性職員研修会に引き続き、株式会社G&S社長の萩原美未子氏をお招きし、男女共同参画に関する講義を受けました。講義後のグループワークでは、土地改良区が目指す女性活躍推進や9月に設立した「いしかわ水土里ネット女性の会」における今後の課題等について考え、男女が共に活躍できる働き方について理解を深めました。



研修会の様子

土地改良団体における男女共同参画推進研修会

9月26日(火)、土地改良会館にて全国水土里ネット主催による標記研修会を開催。5名の講師をお招きし、女性理事登用に向けて、必要な知識や事例についてお話ししていただいた。



いしかわ水土里ネット女性の会設立総会

9月26日(火)、いしかわ水土里ネット女性の会設立総会を開催した。本会理事である丸山 愛子氏が会長に就任。就任挨拶で「会員相互のネットワークを広げ、情報共有そして連携の強化を図り、皆様と一緒にこの会がよりよいものになるよう、勉強していきたい」と挨拶された。

また来賓として参議院議員 宮崎雅夫氏、北陸農政局農村振興部土地改良管理課 石田昭弘課長、石川県農林水産部農業基盤課 渡辺竜哉担当課長から挨拶を頂いた。

【役員】(任期：令和5年9月26日～令和7年3月31日)

- | | | |
|-----|------------------|-------|
| 会長 | 石川県土地改良事業団体連合会理事 | 丸山 愛子 |
| 副会長 | 小松東部土地改良区事務長 | 宮崎由加里 |
| | 松任土地改良区会計主任 | 西村 文子 |
| | 志賀町土地改良区事務局次長 | 張原 有希 |



会長に就任した丸山氏

“21創造運動”いしかわだより

花いっぱい運動

●●● 水土里ネットかほくがた ●●●

7月5日(水)、津幡町潟端の私立さくらこども園で、水土里ネットかほくがたによる「花いっぱい運動」が開催されました。参加した園児たちは、柔らかい土の感触を楽しみながら、ベゴニアやマリーゴールドなど4種の花苗を植えました。プランターはこども園前の農業用水路沿いに並べられ、水路沿いがぱっと華やかになりました。

この取組みは、水土里ネットの役割と環境美化のPRを目的に、平成16年度から同こども園の協力を得て毎年実施されています。



花植えのようす

ひまわり村種まき・開村式

●●● 河北潟水土里ネットかんたく ●●●

津幡町湖東の河北潟干拓地「ひまわり村」にて、5月24日(水)に種まき、7月28日(金)に開村式が行われました。

開村式は、猛暑のためプログラムを縮小して実施。式典後に迷路で遊ぶ子ども達からは、鮮やかできれいに咲いたひまわりに、喜びの声があがりました。

恒例のライトアップは7月28日(金)から7月30日(日)まで実施され、今年も多くの人々が夏の思い出作りにひまわり村を訪れました。

全国水土里ネットが発行する「新・田舎人」第117号にひまわり村が掲載されました！



歴史ある用水をこれからも美しく

●●● 水土里ネット辰巳用水 ●●●

水土里ネット辰巳用水は、6月25日(日)に辰巳用水の清掃ボランティアを実施しました。本会職員4名のほか、県や同水土里ネット職員など計20名が参加し、金沢市末町地内犀川浄水場周辺の用水路約1kmで、水路沿いの草刈りや水路内のゴミ拾いなどを行いました。

この活動は、地域住民と共に、歴史的文化的遺産で土地改良施設としての役割も果たしている辰巳用水を維持管理していくことを目的として、平成9年から毎年実施されています。



「水が伝える豊かな農村空間～疏水・ため池のある風景～」 写真コンテストの開催について

今年も疏水ネットワーク、全国ため池等整備事業推進協議会、全国水土里ネット共催の標記コンテストが開催されます。“疏水・ため池の価値や役割、機能を、写真を媒体として広く国民の皆様知ってもらうこと”を目的に開催されています。前回から、18歳以下を対象とする「U-18賞」が設立されており、農業農村に興味のある学生の応募はもちろん、農業水利施設や農業用水について知るきっかけとして、親子で応募してみたいはいかがでしょうか。

◆募集作品

2022年以降に撮影した未発表のもので、用水路やため池など農業水利施設が写っている写真

- 疏水部門 用水路、頭首工、スプリンクラー、貯水池（農業用ダム）などの農業水利施設
- ため池部門 農業用ため池（農業用水として使用されているため池）

◆各賞

疏水・ため池各部門について下記の賞を予定しています。

- 最優秀賞 1点（賞状、賞品8万円分商品券）
- 農林水産省農村振興局長賞 1点（同、同3万円分）
- 全国土地改良事業団体連合会会長賞 1点（同、同3万円分）
- U-18賞（R6年3月31日時点で18歳以下を対象）1点（同、同1万円分）
- 入選 10点程度（2千円分クオカード）

◆応募方法

応募サイズ：4つ切り又は4つ切りワイド

応募数：1人各部門3点ずつまで（最大6作品）

詳細はチラシ裏面又は当会ホームページで確認して下さい。 <http://www.inakajin.or.jp>

◆応募締切

2023年12月11日（月）（必着）

◆問い合わせ先

全国土地改良事業団体連合会 第3回水が伝える豊かな農村空間写真コンテスト係
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4砂防会館別館4階 TEL 03-3234-5480

農業基盤整備資金の金利改定について

令和5年9月19日付けで改定されましたのでお知らせします。

県 営	団 体 営	非 補 助
1. 15%	1. 00%	1. 00%

農業基盤整備資金は、固定金利であり、最終償還期限まで融資時の利率が適用されますが、金融情勢により貸付利率は変動しますので、直近の利率は（株）日本政策金融公庫金沢支店にお問い合わせください。（TEL:076-263-6471）

非補助農業基盤整備資金のご案内

■非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国の補助を受けずに土地改良事業を実施する場合、（株）日本政策金融公庫が、農家負担の軽減を目的に低利で融資する資金のこと。国の補助対象でない県または市町単独による補助事業についても、融資の対象となる。

■融資対象事業

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、策動、畦畔整備、石れき除去、農地造成、農地保全、防災、維持管理、農村環境基

盤施設、集落環境基盤施設、飲雑用水施設 ほか

■融資の条件

○貸付対象者

土地改良区、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む者 ほか

○貸付限度額

地元負担額（最低限度額50万円）

○償還期限

25年以内（うち据置期間10年以内）

○貸付利率

上表のとおり

水土を守り農村空間を創造する

水と緑のパートナー
みどり
水土里ネットいしかわ

編集兼：金沢市古府1丁目197番地

発行：石川県土地改良事業団体連合会

電話：076-249-7181

印刷所：（株）谷印刷

